

町民の声

北黒田 大野 拓治

北黒田に生まれ18歳の時から大学、社会人と京都、東京、千葉と移り住み、松前町を終の棲家と決め居を構えて9年、気候温暖で海も近く農地も多く農産海産物にも恵まれ、人情も厚く誠に住み良い町と満足しております。町政においても四国の他の市町村と比べ公債率も低くしつかりとした町政が行われ、これといった不満も無く暮らしております。特に2年前にエミフルMASAKIができ、買い物等利便性も格段に向上し、郊外の町から文化的な町に変貌し、これからも大きく発展すると楽しみにしているところです。また休日にエミフルの書店でコーヒーを飲みながら2時間ほど読書する事が今の私にとって至福の時です。

元の伊予高校のPTAの役員を務めてきた関係で教育関係者と接する機会も多く、PTA活動を通じ多くの方々知り合いになれたことは人生の宝だと思っております。ただ残念ながら先生方、生徒たちも一生懸命勉学に励んでいるにも係わらず、高校大学卒業後の就職率が70%台という厳しい就職難の時代を迎えています。町政でなんとかなる問題ではないことは重々承知していますが子供たちの努力が報われ、夢が叶う時代に早くなつて欲しいと願う今日この頃です。

傍聴席

初めての傍聴

一色 光

先着の傍聴人がいたが中央部前席に腰をおろす。場内を眺めながら国会で遅刻し響(ひびく)を買った議員がいた事等、一瞬脳裏をかすめた。定刻前に次々と議員が入場し、傍聴者席を眺め一礼し自己研鑽につとめ今後の傍聴へ思いを致している。

漸く時間のとれる身となり、気に留めていた町議会の傍聴に出かけた。議会事務局女子職員による傍聴人室入口迄の案内と行き届いた応待に恐縮し傍聴人室に入る。

短めの傍聴ではあったが、私は町行政に依存しすぎず、町議会への関心を一新し、自己研鑽につとめ今後の傍聴へ思いを致している。

白石町長は「第三次計画で掲げた三一五施策の六〇％は達成、第四次計画は、防災拠点となる公共施設の耐震化を優先したい」と述べていた。この質疑答弁を聞き、三一五施策がどの様な施策か、自分が全く理解してなく、無知な傍聴人ではないことを知り、汗顔の至りであった。続く議員は税金収納の問題にふれていった。

本議会委員会 傍聴のご案内



町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。(500字程度)

宛先

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
町民の声
FAX 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp

住所・氏名・年齢を届けるだけでどなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。傍聴の手続きは、議会事務局(庁舎5階)で住所・氏名・年齢を書くだけの簡単なものです。多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

(今回は6月上半旬の予定です)